

# Rainbow Times


Children's Rainbow Center Newsletter


Vol.8 Spring-Summer 2008



## INDEX★TOPICS

- ★ 平成 20 年度研修 第 1 弾！ 今年度実施研修の一部を紹介！
- ☆ センター紀要と研究報告書が完成、関係機関に送付しています。
- ★ 子どもの虹情報研修センター企画『日本の子ども虐待』刊行！
- ☆ Rainbow Times、久々の発行です。よろしくお願いいたします。

- ★  「一般向けページ」に引っ越しました！

この  は研修参加者との交流のための新聞です。  
研修参加者のみなさんからの積極的な投稿をお待ちしております。

# ☆ 平成20年度研修がスタートしました！

平成20年度子どもの虹情報研修センター「虐待対応研修」の内容と日程が決定しました。4月の「児童相談所長研修<前期>」をはじめ、計22本以上の研修が行われます。

研修の概要については、「平成20年度研修概要」を各機関・施設あてにお送りしましたので、ご確認下さい。ホームページ上に研修一覧が掲載されています。また、実施要項等は対象となる機関に送付するとともに、逐次ホームページに掲載していきます。

ここでは、平成20年度研修の特色をいくつかご紹介します。

## ① 地域虐待対応等アドバンス研修

昨年度まで「地域虐待対応等職員合同研修」として開催していたものを再編、ステップアップ研修として行います。昨年度までの地域研修の形を踏襲した2日間の研修ではありますが、参加者のみなさんからの提出事例をもとに、児童相談所と市町村とが協働した事例検討会を行います。今年、秋田市（9月）、岐阜市（11月）、水戸市（12月）、宮崎市（1月）にて開催します。

## ② テーマ別研修「親への支援」「児童虐待に関する諸問題」

本年度は「親への支援」「児童虐待に関する諸問題」をそれぞれテーマにした3日間の研修を実施します。「親への支援」については、平成18年度に大変好評だったもので、「世代間連鎖」等の新たなテーマを組み入れての再編成となります。

もう1つのテーマ別研修「児童虐待に関する諸問題」は、現在さまざまな取り組みが進んでいる児童虐待対応ではありますが、まだ積み残された課題や新たに気づかれた問題があるようです。それらの課題を講義や実践報告、事例検討を通して整理し、検討します。

実施要項などは、秋以降、各職場に送付いたします。ホームページもご参照ください。

## ③ 児童相談所児童心理司スーパーバイザー研修

児童相談所運営指針の改正により、「児童相談所児童心理司スーパーバイザー」が設けられることとなりました。これに伴い、今まで実施していた「児童相談所心理職員指導者研修」を廃止し、「児童相談所児童心理司スーパーバイザー研修」として新設しました。児童相談所経験5年以上の職員が対象です。児童相談所児童心理司スーパーバイザーとしては必須の「スーパービジョン」に関する講義、市町村に対する後方支援（心理職の立場から）に関するグループ討議も企画しています。10人程度の少人数で意見交換を行う事例検討も予定しています。

## ④ 地域虐待対応等研修指導者養成研修

この研修は、本年度から実施する研修です。都道府県・指定都市、市町村で、児童虐待対応に関わっている方を対象に、地域で行う研修の指導者を養成するものです。研修修了後は、地域での児童虐待に関する研修の企画実施や充実強化に取り組んでいただくために企画しました。内容も、講義やグループ討議だけでなく、リスクアセスメントに関する演習や要保護児童対策地域協議会の「個別ケース検討会議」の運営に関する演習も行います。

## ⑤ 公開講座

毎年11月の「児童虐待防止推進月間」に、センターでは公開講座を開催しています。

昨年度は、『英国から学ぶ児童虐待対応』というテーマで、英国児童虐待防止協会（BASPCAN）会長のJ.ピッケン氏をお招きし、講演とシンポジウムを行いました。

今年の公開講座は11月14日（金）に実施します。公開講座の詳細（内容、時程等）については、次号（Vol.9）以降で紹介します。

## ⑥ 大学生・大学院生児童虐待MDT（多分野協働チーム）研修

今年も大学生・大学院生を対象とした研修を開催します。様々な分野の学生が集まり、講師が提示した事例をもとに対応を考えたり、児童虐待防止の啓発活動についてアイデアを出し合うプログラムもあります。昨年度の研修参加者は、自分の専攻している分野とは異なった学生との出会いが新鮮だったようです。関心のある大学生・大学院生がおられましたらセンターあてにメールをお送りください。詳しい案内（実施要項等）をお送りします。

平成20年度研修への積極的な参加をお待ちしています。

▶平成20年度研修の一場面 ▶▶



# 紀要・研究報告書

# 見ていただきましたか！

## 子どもの虹情報研修センター紀要 No5 (2007)

紀要 No. 5 が発刊されました。

紀要 No. 5 は、論文が 2 本、5 本の研修講演録（公開講座含む）、エッセイ、研究報告、そして、事業報告から成っています。今回の論文は、渡辺久子先生、才村純先生にお願いしました。講演録からは「子どもの脳の発達（榊原洋一先生）」「子どもの育ちを支える建物（仙田満先生）」、「虐待と子どもの発達（内田伸子先生）」「職員と児童福祉施設に求められる視点+α（草間吉夫 茨城県高萩市長）」「虐待の発生予防としての教育（松村京子先生）」です。研究報告は、「児童虐待に関する法制度および法学文献資料の研究（第 2 期：1990 年 4 月から 2000 年 5 月まで）」の一部を掲載しています。どれも読みごたえ十分です。

## 研究報告

平成 18 年度（～平成 19 年度）に行われた各研究は研究報告書としてまとめられています。その一部を紹介します。平成 18 年度（～平成 19 年度）は、情緒障害児短期治療施設をフィールドに 3 つの研究を行いました。「児童虐待における援助目標と援助の評価に関する研究—被虐待児の施設ケアにおける攻撃性・暴力性の問題とその対応」「情短施設におけるアフターフォローと退所後の児童の状況に関する研究」「被虐待児に対する臨床上の治療技法に関する研究—情短施設における被虐待児への心理治療—」です。これらの報告書は、情緒障害児短期治療施設だけでなく、その他の児童福祉施設や治療施設等にも活用できることと思います。

また、平成 19 年 4 月に実施したイギリス視察についても、報告書としてまとめられています。虐待対応を行っている様々な機関のたくさんの情報を満載しています。

紀要と研究報告書（公開可能なもの）は、ホームページ上にも閲覧可能（PDF ファイル）です。

★

児童虐待を「子どもの危機的状況」と捉え、それらに関する戦後からの様々な文献や研究報告等を集め、分析した研究が「児童虐待に関する援助法に関する文献研究～戦後日本社会の「子どもの危機的状況」という視点からの心理社会的分析～」です。戦後から現在を 4 つの時代区分に分け、毎年順に行ってきた研究も、第 4 報をもって現在（2006 年）に到達しました。そこで、過去の 4 報告を改めて大幅に加筆・修正し、1 冊の本としてまとめました。それがこの『日本の子ども虐待』です。

この本は、子どもの虹情報研修センターが初めて企画した書籍です。大変充実した内容となっておりますので、是非、手にとってご覧ください。



▲『日本の子ども虐待』（福村出版）

# OneMoreTime,OneMoreSakuragicho(桜木町)♪

ここでは、宿泊施設のある横浜桜木町を中心に、横浜の最新情報？をお届けします。このコーナーのタイトルは、山崎まさよさんの曲名をアレンジしました。(お借りします♪)

## #7 ホテルの周辺のご案内 (ダイジェスト版)

子どもの虹情報研修センターでは「横浜桜木町ワシントンホテル」を宿泊ホテルとしてご紹介しております。横浜桜木町ワシントンホテルはJR桜木町駅の近くにあり、「みなとみらい地区」へのアクセスも便利です。

ホテルの入っているビルにはコンビニ (ロビー階) やレストラン、コーヒーショップ等、ショップも数多くあり、研修外の時間も快適に過ごせます。

また、ホテルは、JR桜木町駅前ということで、みなとみらい地区や自動車 (#3) や野毛 (#5) も近く、夜景やおしゃれなスポットや、「横濱」の昔ながらの情緒を味わうことができます。また、中華街 (#2) へのアクセスも非常に便利です。(JRでは「石川町」「関内」駅が便利。地下鉄みなとみらい線では、「元町・横浜中華街」駅で降りると、そこはもう中華街の入口です。)

詳細は、過去のこのコーナーやガイドブック、そして、研修参加時に配られる「横浜の地図」(何が配られるか、それはそのときまでわかりませんが…)を参照ください。



▲横浜中華街へのアクセスも便利に！



### 編集者のつぶやき…

「RainbowTimes」Vol. 8です。ずいぶんと時間が空いてしまい、大変申しわけありませんでした。新年度となって3ヶ月が経ち、みなさんいかがでしょうか。初めて、兎相勤務になったり、児童福祉施設に就職されたり、新しい方々も多いと思います。

センターでも、この2年間に、いくつかの大きなニュースがありました。一番大きいことは、新しいスタッフを迎え、機能強化を図ってきたことです。その方々には後日、Rainbow Timesにも登場を願いたいと思っております。

この新聞は、これからも季節ごとに発行していきます。みなさんの投稿をお待ちしております。(hiro)

# Rainbow Times

企画・編集室

〒245-0062 横浜市戸塚区汲沢町983番地 子どもの虹情報研修センター内

TEL 045-871-8011 FAX 045-871-8091 Email [info@crc-japan.net](mailto:info@crc-japan.net)